

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 4年 6月 17日

公表: 令和4年 7月 1日

事業所名 チヤイルドハート東海岡崎北

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1	法令を遵守したスペースを確保しつつ、空間を最大限活用しています。	角に防護シートを張る等安全な環境づくりに配慮しています。
	2	職員の配置数は適切である	9		法令で必要とされている職員配置に加え、保育士又は児童指導員を1名以上配置(常勤換算算定にて)しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	3	装具使用者等の為に玄関や段差付近に手すりを設置しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1	半年・1年毎に各自の目標を設定し、各職員の意識向上に努めています。	職員の技術や知識等専門性の向上を目標に、日々の支援内容を共有及びその振り返りや進捗状況、内容の伝達を各職員が行う機会を大切にしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			保護者様向けの評価表によるアンケートを活用し、業務改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1	HPIにて公開しています。	保護者に向けてHPでの公開の通知・伝達を行っています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	3		同法人事業所での内部監査を行い、業務改善に努めています。第三者評価による外部評価の必要性を感じてはいます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		毎月事業所内で研修を実施すると共に外部研修にも積極的に参加しています。	放課後等デイサービス以外の福祉サービスについても深い知識を持ち、速やかな連携が行えるようにしていく必要があると考えます。
適切な支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		計画期間ごとにアセスメントをとった上で計画書を作成しています。	様々な方面からの視点を取り入れたアセスメントを使用しています。今後も課題を客観的に分析した上で計画書を作成出来る様に職員間での情報共有を密に、統一した認識を持つようにしていきたいと思いをします。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		統一したアセスメントシートを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		計画書を元に職員全体で立案をし支援に取り組んでいます。	日々毎に学習課題や巧緻性を向上させる課題を用意したり、レクリエーションや事業所内の活動の中でプログラムが固定化しないように、計画書を基にしてお子様一人一人の様々な角度から支援をしていく事を目標としています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		お子様の自主性や特性・興味関心に合わせて成長・発達を促すような支援をしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9		その日に応じた支援を実施しています。	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8	1	アセスメントを元に優先順位をつけて長期目標・短期目標を設定した個別支援計画書を策定しています。		

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		朝礼の実施や、連絡帳を用いての情報共有に努めています	常勤・非常勤職員の中で明確に役割分担をし、より良い支援に繋げていく事を目標としています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		終礼の実施や、連絡帳を用いての情報共有に努めています	支援終了後、送迎の無い職員間で振り返りを行っています。その後、常勤職員で再度振り返りを行う体制を整えています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		毎日支援記録をとり、日々の支援を見直しています。	職員の主観ではなく計画書に添った支援内容を客観的に記録するように努めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		Hugシステムでのケア記録の開示や定期的な保護者様とのモニタリングを実施し、計画の見直しを行っています。	日々のケア記録への返信や送迎時の相談事例も踏まえながら、モニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しに努めています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	1	ガイドラインの研修を随時実施し支援に取り入れています。	ガイドラインをいつでも閲覧できる環境に置き、職員が常時確認できる体制を整えています。非常勤職員に徹底して行く必要があると考えています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		児童発達支援管理責任者と児童指導員の2名で参加しています。	現在コロナ禍の中会議の実施が難しいが、今後は決まった職員だけでなく全員が参加出来るようにしていきたいと考えています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9		各学校の先生方と送迎時に支援に関する事や学校・事業所での様子を話し合い相互理解を深めています。	学校によっては、情報共有が少ない学校もあるので、今後深めていきたいと思ひます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	3	保護者や学校等の連携を密に利用児のその日の様子を把握し、援助しています。	援助が必要な利用児の医療器具を事業所に設置し、必要な援助に努めています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	1		保護者様を通所して情報提供をお願いしていますが、今後はより相互理解に深めていかなくてはと考えています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	4	連絡帳などを用いて状況提供ができる体制を整えてあります。	現在、該当者はいませんが今後該当者が存在した時には、保護者様の許可を得てから情報を共有する等していく予定です。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	3	年に数回実施されている研修に参加しています。	現在コロナ禍の中ではありますが、可能な限り参加していく予定です。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	6	同一法人の事業所間で交流する機会を設けています。	児童館と交流する機会は、コロナ禍の中であつたり支援時間が被る事も踏まえ難しいですが、今後機会があれば交流していきたいと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	4	児童発達管理責任者が参加しています。	法人での会議を実施し、その都度より広く情報共有やその確認をする機会を設けています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	1	送迎時などに保護者様へお子様の様子をフィードバックをしています。また日々の様子をHugシステムを通して、開示しお子様の発達の様子をお伝えしています。	送迎時に母親とは共通理解を深めていますが、父親にお会いする機会が少ないので、事業所内相談等でお会いする機会を増やしていかなくては、と考えています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	2	支援後のフィードバックの時間や事業所内相談等を通して、ご家庭での対応方法などについてアドバイスをしています。	職員全員が支援内容について同じ様な知識の習得やわかりやすい伝達の仕方が出来るまでに至っていないので、今後研修の回数を重ねていかなくては、と考えています。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約時にご説明すると共に事業所内に重要書類を掲示しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		事業所内相談やママ会・日々のフィードバックの中で時間を設け必要な助言と支援を行っています。	各家庭との相談は受けつけているものの、今後はママ会等、保護者様が参加出来る会を企画し子育ての不安を軽減していきたいと思います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	5	利用者様の希望で保護者会等の実施を行っています。	学校や企業への見学・体験にご希望のある保護者様の参加を呼びかけ参加されたご家庭で話し合う機会等増やしていきたいと思ひます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9		事業所内に解決責任者を選任し苦情受付体制を整えると共に、いただいた苦情に対しては迅速かつ適切に対応しています。	過去の苦情に関しても職員間で情報共有し、職員のスキルアップに繋げていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	3	定期的に通信を発行し日々の活動の報告や様々な情報を発信しています。	様々な制度や福祉事業所などについて今後も会報を通して伝えていくように、職員全体が知識を深めなくては、と考えています。
	35	個人情報に十分注意している	9		鍵付き書庫に保管しています。	書庫数に限りがある為、今後増やしていかななくてはと思います。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		ノンバーバルコミュニケーションを大切にしたり、仮名を振るなどをし情報が円滑に伝わる様に努めています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	3		現在は活動時にゴミ拾いをするなど、地域の方達と挨拶を交わすぐらいなので、今後は開かれた事業所運営を目指していきたいと思ひます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9		マニュアルを策定し研修を実施しています。	残念ながら保護者様に周知徹底とまでは至っていない現状です。今後マニュアルを再整備し周知徹底していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		最低半年に1回以上実施しています。	火災・地震等災害以外にも変質者対策なども今後取り入れていく必要があると考えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1	マニュアルを元に研修を行っています。	どのような事が虐待に当たるのかを周知徹底していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9		研修を実施し、保護者様へは契約時に丁寧に説明しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1	全てのお子様へのアレルギーの有無を確認しています。	現在アレルギーのあるお子様は利用になっておりませんが、今後受け入れる事があれば医師の指示書に基づいて対応していきたいと考えています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し職員間で状況共有しています。	